

平成26年度経常研究 益子焼技術映像マニュアルの作成

担当部所 : 栃木県産業技術センター 窯業技術支援センター

背景

益子焼のロクロ成形技術・施釉技術等は修得に時間のかかる伝統技術のひとつであり、職人の高齢化、後継者不足等により、次世代への技術継承が課題となっている。

また、陶芸の魅力をアピールできるよう、更なる技術の普及も必要である。

そこで、益子焼技術の技術継承・保存・普及を目的として、映像マニュアルを開発を行った。



タブレット端末・スマートフォンでの映像マニュアルの再生

研究目標と結果

研究目標

- 映像マニュアルを開発する。
- 開発のための知見を得る。

実施内容

① 撮影する工程と対象の決定

工芸品検査基準等を参考に、主に窯業技術支援センターの窯業技術者養成事業・平成26年度伝習生養成課程の中から抽出した。

撮影する工程は土揉み技術、ロクロ成形技術、泥掛け・施釉技術を対象とし、各工程に応じて情報伝達に適切な形式となるよう「動画」「静止画(イラスト)」「文章」の3種に分類した。



基礎(土練り等)



平物成形



筒物成形



袋物成形



蓋物成形



泥化粧・施釉

② マニュアルの作成

タブレット端末等で再生できる形式の動画情報、静止画(イラスト)情報、文章情報をHTML文書に埋め込む。

HTML文書はHTML 4.01 transitionalに、CSS文書はCSS3に準じた形式で記述した。

動画情報はH.264形式によるmpeg4ファイルとして、静止画(イラスト)情報は主にjpegファイルとして作成した。文章情報はHTMLファイルに直接記述した。

動画

<video>タグで埋め込み

イラスト

<image>タグで埋め込み

文章

<p>タグで埋め込み

HTML文書

まとめ

- 益子焼ロクロ技術等の映像マニュアルを開発した。
- 映像マニュアル開発のための知見を得た。

ご来場の皆様へ

問い合わせ先: 栃木県産業技術センター 窯業技術支援センター TEL 0285(72)5221

- 後継者育成用教材として用いることで効果的な技術継承が期待されます。
- 益子焼製造技術の効果的な普及が期待されます。

